

2018年4月1日



2017年度活動報告書

2017年4月～2018年3月

1 相談支援活動

相談支援の拠点として、「あすからの暮らし相談室・盛岡」を盛岡市茶畑に設置し、岩手県内の被災者など生活に困難を抱える方を対象に、面接、電話、訪問等により相談及び支援を実施した。また、宮古市社会福協議会から委託を受けて宮古市社会福祉協議会が宮古市に設置している、生活困窮者相談支援機関「暮らしネットみやこ」に職員2人を配置し、被災者等を対象として宮古地域における相談支援活動を行った。

相談支援の手法としては、生活に困窮している住民に対し、地域資源と連携しながら、個別的、継続的、制度横断的、伴走型、寄り添い型の生活再建支援を行った。

2018年度の活動数は、6,285件(面接相談982件、電話相談1,927件、訪問相談265件、関係機関との連携3,111件)、相談室訪問者1,001人、新規相談者数143人であった。

2016年6月からは、児童養護施設を退所した若者などの相談支援を行う「いわての若者暮らし仕事支援事業(わかくら)」を関係4団体と協働して開始している。

2016年12月から、災害時におけるソーシャルワークが迅速かつ効果的に実施できる体制づくりに取り組み始めた。2017年1月から、台風10号被害のあった岩泉町で「岩泉よりそい・みらいネット」相談会に参加している

2 生きやすい地域づくり活動

(1) 「つむぎサロン・みやこ」活動

被災者同士の交流と自立支援、相談の掘り起しにつながることを期待し、SAVE IWATEが行う復興ぞうきん事業(支援物資のタオルを被災者が仕立ててSAVE IWATEが買い上げる事業)と連携し、「つむぎサロン・みやこ」を2012年5月から毎月開催している。今期の利用者数のべ60人。サロンが被災者の居場所になっているだけでなく、参加者自身が生活困難を訴えたり、参加者が困窮者をつなげてくれたりする効果が出ている。

(2) 「あすくら・つながるサロン」活動

利用者間の交流を促し、孤立を防止するとともに、社会参加のきっかけとするため、「あすくら・つながるサロン」を2015年8月から毎週開催。今期の参加者数のべ183人。参加者は多



様で、多世代、異環境の人々の交流の場となるとともに、参加者のエンパワメントを引き出し、生活再建のステップアップにもよい影響を与えている。

(4) 出前講座活動

社会的包摂理念を広く一般に伝え、事業への協力を促す目的及び内容で出前講座を開催。希望に応じ、講師を派遣している。今期の実施回数 11 回。受講者 320 人。受講者からはおおむね好評を得ている。

(5) ボランティア活動

社会的包摂理念を広く普及させていくため、活動を手伝うボランティアを 2012 年 8 月から募集し、受け入れている。今期のボランティア活動実績 31 回、31 人。就労困難者、社会的孤立者の社会参加、就労体験の場になっている。

(6) フードバンク、「ぐるぐるマーケット」活動

緊急的な食糧支援が必要なケースに対応するため、NPO 法人フードバンクいわて及び 2015 年 9 月からはコープフードバンクと連携し、必要な方への食糧支援を適時実施した。なお、NPO 法人フードバンクいわてには理事として職員を派遣し、事業に参画している。

「ギフト経済」をくらしの中に取り込んで、互いが豊かに快適に生きていくことを目指すため、2016 年 3 月から「ぐるぐるマーケット」を開始。家庭などに眠っている使わなくなったもの、誰かにギフトしたいものなどを持ち寄って、自分が必要なものを自由に持っていける仕組み。フードバンクと「ぐるぐるマーケット」の取り組みによる受入件数 99 件、支援件数 138 件

(7) 「パソコン教室」活動

支援対象者に対する就労意欲の向上を図るとともに、パソコン技能を高める目的で「パソコン教室」を随時開催している。今期の開催実績 25 回、51 人。

(8) 地域づくり支援活動

雫石町が行う、日本版 CCRC 事業に参画し、持続可能なコミュニティづくりの実践に助言している。また、地域づくりを行う団体などに対し、事務所の空き室を活動場所として提供している。提供回数 35 回、204 人。

(9) 「あすくらセミナー」活動

震災後のくらしに明るい兆しが見えない不安が地域を襲っている現状を踏まえ、住民とともに、地域でよりよく生きていくための選択肢を増やすアイデア等を学び考えるとともに、震災後のくらしのモデルロールを構築し、あすからのくらしに展望を持つ一助とするために 2014 年 1 月から実施。

2018 年 3 月に、幸せに生きていくためのモデルロールを実践しているコミュニティを紹介する「あすくらセミナー」を開催した。40 人参加。

3 地域ネットワーク構築活動

個別の相談支援においては、生活困窮者自立相談支援機関をはじめ、必要な社会資源と適宜連携し、相談支援事業を通じて、地域のネットワークづくりを行っている。また、適時、各社会資源と連携のための協議を行った。各社会資源にはチラシ・ポスターを配布し、活動への協力を依頼した。2015 年 8 月からはメーリングリスト「あすくらネット」を開設・運営し、生活困窮者支援等に係る情報交換の場を提供している。



参加しているネットワークは以下のとおり。当法人のノウハウ等の知見を提供・共有している。

- ・盛岡市多機関の協働による包括的支援体制構築モデル事業
- ・盛岡市生活困窮者自立支援調整会議
- ・もりおか被災者見守りネットワーク会議
- ・岩泉町よりそいみらいネット
- ・盛岡市復興支援ネットワーク
- ・盛岡コミュニティソーシャルワーク懇話会

4 その他の活動

報道機関に対して活動に係るプレス・リリースを行っている。また、視察・取材対応を通じて、活動の実情、被災者等生活困窮者の状況などを伝えた。

各ドナーとは、助成金の申請、事業の報告のみならず、適宜連携し、情報交換、セミナー等への参加等をした。

職員の資質を高める研修や事例検討会等には随時積極的に派遣した。また、ソーシャルワークに係る大学受講支援を実施し、人材育成に努めた。

釜石市及び花巻市を拠点とし、被災した母子等に対し支援を行っている NPO 法人及び石巻市、仙台市で被災した若者の就労支援や社会参加支援等を行っている NPO 法人に対し、当方の知見を技術移転するとともに、相談対応等について、スーパーバイズを行った。



●くらしのサポーターズ 活動統計

2017年4月～2018年3月

項目	活動数
相談等	6,285
面接相談	982
電話相談	1,927
訪問相談	265
関係機関との連携	3,111
相談室訪問者	1,001
新規利用者	143
支援対象者	60
ハローワークとの連携	171



●活動写真



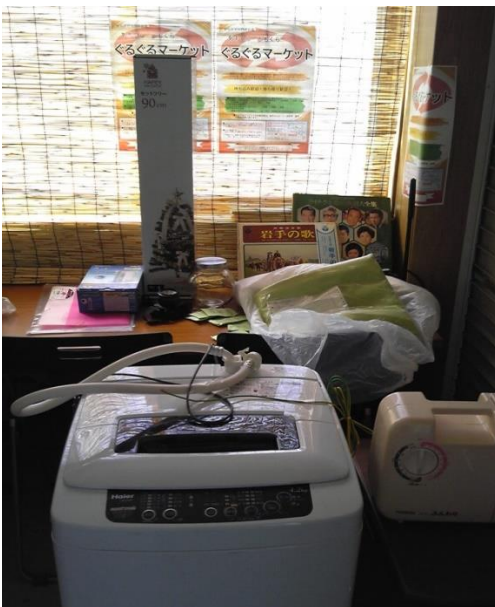
相談の様子 1



相談の様子 2



食糧支援物資



ぐるぐるマーケットの様子①



ぐるぐるマーケットの様子②





つながるサロンの様子



社会的養護学習会の様子



社会的養護寄宿舍



あすくらセミナーの様子①



あすくらセミナーの様子②

